



令和2年5月11日(月)
練馬区立開進第四小学校
校長 河崎晃二

開四小だより

5月号

我慢 と 辛抱

校長 河崎晃二

先日、日曜日の朝の番組で、タレントの磯野さんが俳優でコメディアン石倉三郎さんの本を読んだ時に見付けたという「忘れられない言葉」について次のように紹介していました。

私、コロナがこういうふうになってきてから、すごく忘れられない言葉があるの。役者の石倉三郎さんの本を前に読んでいて、ずっと忘れないのが「辛抱と我慢は違う」ということ。

今は、辛抱の時なのよ。我慢は、人間って我が強いから我慢がすごくしにくいんだって。我慢しろといわれると、我が出ちゃうからすごく辛い。

でも、人って辛抱はできるんだって。辛抱って漢字で書くと『辛さを抱く』って書くでしょ。だから、辛さを抱きしめればいいのよ。ぎゅって。なんかできる感じがしない？辛抱って。私それ読んだ時に、なるほどって思ったの。

私もこの番組を見ていて「そうだな。」と思いました。先の見えない状況の中で、様々なことが制限されています。やりたい事もできずにずっと我慢しています。あるいは、不安を抱える中で一生懸命に働いている人もいます。とても苦しいです。でも、見方や視点を変えることで、気持ちや考え方も変わってきます。ネットで調べてみると右のようなことも掲載されていたので紹介します。

また、今、アスリートやアーティスト、タレントなどが、自分ができるとは何なのかを考えて、ウェブを通じて様々なことを発信しています。私たちも自分でできることを考え、この状況を乗り切りたいものです。

引き続き臨時休業となり、制限されることも続きます。私達開四小の教職員一同は、一丸となって対応して参りますので、子供たちのためにも引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

我慢と辛抱

嫌なことをただ耐え忍ぶのが「我慢」
好きなことのために耐え忍ぶのが「辛抱」
我慢の中には不満がある
辛抱の中には希望がある
我慢はいずれ爆発する
辛抱はいずれ実る
我慢はしなくていい
辛抱をしよう